

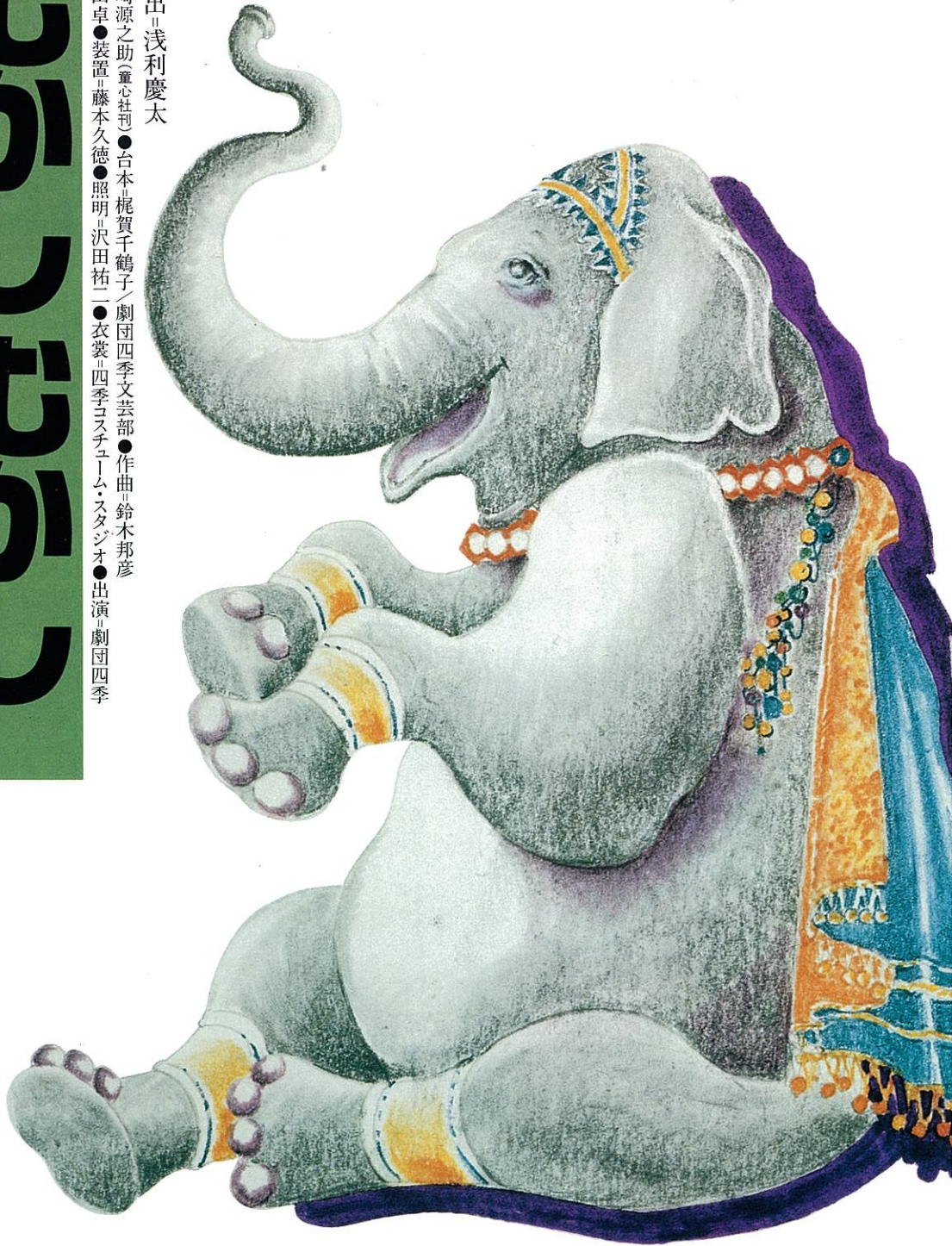
劇団四季ミュージカル

むかしむかし

構成・演出 浅利慶太

●原作 長崎源之助(童心社刊) ●台本 梶賀千鶴子 / 劇団四季文芸部 ●作曲 鈴木邦彦

●振付 山田卓 ●装置 藤本久徳 ●照明 沢田祐二 ●衣裳 四季コスチューム・スタジオ ●出演 劇団四季



ゾウがきた

1月27日(土) 午後2時開演 たんば田園交響ホール

入場料 大人3,000円(当日3,500円) 小人2,000円(当日2,500円) 《全席指定》

主催 / 篠山町

お問い合わせ たんば田園交響ホール ☎0795(52)3600 〒669-23 兵庫県多紀郡篠山町北新町41

前売券発売所 ■篠山町内/書店・楽器・レコード店・役場支所 ■多紀郡内/各町公民館(各農協で取次)

■氷上郡/春日町文化ホール・柏原観光案内所 ■三田市/ニチイ三田店サービスコーナー ■京都府/両丹プレイガイド

共催=財団法人舞台芸術センター 後援=日本自転車振興会 この公演は「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。

むかし むかし ゾウがきた

ものがたり

むかしむかし、唐の国（今の中国）から、一頭の象がやって来ました。殿様への贈り物です。その大きな身体、長い長い鼻、小さくてかわい目としたっぽ…。それに、よく食べることに食べること。バナナも、おイモも、リンゴもあつという間に平らげてしまいます。なにしろ象を見たことも聞いたこともない時代のことですから、町の人々は皆びっくり仰天してしまいました。殿様は象に、よく食らう衛門「九郎衛門」という名豆前を付けました。飼育係を命じられたほら貝吹きの太郎衛門の家では、一人息子の太郎坊が大喜び。また、象小屋の前は、毎日、ひと目九郎衛門を見ようという見物人でごった返しています。彼はすっかり人気者となり、町の人々の仲間になりました。

ところがある日、殿様から「九郎衛門を殺せ」と命令が下りました。南の国とのいくさが始まったのです。食べ物も少なくなるし、あばれだすと困るというのです。罪もない九郎衛門を殺すなんて！

でも殿様に逆らうと打ち首になってしまいます。太郎坊はお母さんと一緒に九郎衛門を連れて北の村へと旅立ちます。九郎衛門を洞くつにかくまうために。山をいくつも越え、あと少しで、村につくという時、二人と一頭、猛吹雪がおそいかかってきました。寒さに倒れてしまった九郎衛門を、必死で助けおこす二人。九郎衛門は無事に北の村に行くことができるのでしょうか。

全国の子どもたちに

舞台の感動を

この事業は日頃すぐれた舞台に接する機会のない全国の子どもたちに、最高のスタッフ・キャストによる第一級のミュージカルを、驚いたかどうか、各開催地の主催者と財団法人舞台芸術センターの共催で実施しています。

財団法人舞台芸術センター(理事長 江戸英雄・専務理事 浅利慶太)は、昭和48年11月に設立され、演劇・音楽などの舞台芸術の普及・向上をはかるとともに、舞台芸術を通して、青少年の豊かな情操を育むことを目的としております。

出演する劇団四季は、昭和28年創立以来、一貫して、オーソドックスな理念にもとづく清新な演劇活動を全国的に展開しています。また、早くから子どもたちの演劇にも力を注ぎ、全国の子どもたちにたくさんのお名作をお贈りしてまいりました。なお、この「むかしむかしゾウがきた」は昭和55年に「ニッセイ名作劇場」で上演された作品です。

財団法人 舞台芸術センター



この公演は、日本自転車振興会からの競輪の公益資金の補助を受けて開催するものです。